

平成23年度国立大学法人東京海洋大学臨時教育研究評議会議事要録

日 時 平成23年6月10日（金）15時30分～16時30分

場 所 楽水会館特別会議室（品川地区）

出席者 松山学長、竹内理事、苦瀬理事、河野副学長・附属図書館長、小川海洋科学部長、
鶴田海洋工学部長、賞雅研究科長、石丸評議員、上村評議員、岩坂評議員、
志摩評議員

陪席：飯澤事務局長

事務担当者：沼口総務部長、村野財務部長、杉本学務部長ほか事務関係者

議 事

審議事項

1 学生寮（朋鷹寮）における事案について

（1）経緯の確認及び今後の対応等について

学長から、資料により、6月9日（木）に発生した学生寮（朋鷹寮）非常階段からの海洋科学部学生の転落死について、現時点で把握している経緯等に関する報告があった。また、海洋科学部長からお詫びの言葉があった。

学長から、本件は、本学の教育上極めて重要な事案であると判断し、臨時教育研究評議会を開催し、審議することとした旨の説明の後、今後の対応について協議した結果、今回の転落死に関する調査及び懲罰等の審査に加えて、学生寮の改革、未成年飲酒やハラスメントの防止等について、これまで以上に全学的に取り組む必要があることを確認した。

（2）調査委員会について

学長から、本件の調査委員会は、当初海洋科学部に設置して任にあたったが、関係者に海洋工学部の学生が含まれていることから、全学的な調査委員会を設置することとした旨の提案があり、審議の結果、海洋科学部調査委員会の構成を基本に、海洋工学部から委員を追加して調査委員会を設置することとした。調査委員会の名称及び委員構成は以下のとおりとした。

名 称 転落死調査委員会

構成員 小川 海洋科学部長（委員長）

柿原 海洋科学部副学部長

上村 海洋科学部評議員

大橋 海洋科学部海洋環境学科長

岩坂 海洋工学部評議員

村山 海洋工学部教授（学生支援委員会副委員長） （以上6人）

なお、上記委員会には事務担当者を陪席させることとし、担当課等については事務局で協議の上、別途連絡することとした。

以上